

地域発展と教育充実へ

南都銀行(橋本隆史頭取) 生駒北小中に寄贈



前左から寄付目録を持つ小柴市長、感謝状を手にする上武会長、橋本頭取、上武社長ら=22日、生駒市東新町の市役所

南都銀行(橋本隆史頭取) 駒市の上武建設(上武建一社長)、「ナント」SD 社)とともに、同市高山は22日、「ナント」SD 社)とともに、同市高山G.S私募債」を発行した生駒市立生駒北小中学校に

大判プリンターと公園遊具のジャンクルームを寄贈した。同社は2017年、22年にも私募債を発行し、創業でグループ会長の上武勝宣氏の出身校の同校に書架と書籍を寄贈。17年から寄贈を続ける書籍は1500冊に上り、児童・生徒らから「上武文庫」として親しまれている。

同私募債は、同行と私募債発行企業が連携し、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の活動を実践する取り組み。起債額の一部分から企業が指定する地方公共団体や学校、病院などへ役立つ物品を寄付する。今回の寄付額は100万円を上武会長個人の寄付も含む。

この日、寄贈式が生駒市役所で行われ、橋本頭取と

堀部泰史支店長、上武会長、上武社長、同市の小柴雅史市長、原井葉子教育長らが出席した。

橋本頭取は「同社創業55周年を記念した起債で、今年が3回目。土木、建設、地域の発展に尽くす会長と社長の思いが起債や寄贈につながっている。同社、同市の発展と同校の教育の充実を祈念し、引き続き取り組みを続けていく。ごあいさつ。小柴市長は「先般も同校では同社と(建設機械メーカー)の「コマツ」による電動化建機の特別授業を開き、キャリア、SDGs教育に触れた。市が同私募債を発行して良かったと思っていただけの活用をすることでSDGsの価値が輝くと思

「劇団四季」は、子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクト「児童招待公演」の「劇団四季」の劇場として「ガンバの大冒険」を22日

観劇を終えた児童らを見送る劇団四季の俳優ら=22日、奈良市三条宮前町のなら100年会館

観劇を終えた児童らを見送る劇団四季の俳優ら=22日、奈良市三条宮前町のなら100年会館

観劇を終えた児童らを見送る劇団四季の俳優ら=22日、奈良市三条宮前町のなら100年会館

学びの成果、互いに披露

高校生ら遠隔交流

日本一の柿どころ五條市と北海道内数の米どころ新十津川町で農業を学ぶ高校生が22日、インターネットを通じた会議システムで交流し、研究活動の成果や次年度の目標などを発表し合った。

両市町は2022年10月に交流都市提携を結んだ。オンライン交流を行ったのは市立西吉野農業高校と道立新十津川農業高校の農業クラブ役員らで、西吉野農業は、菓子や生薬に使われる葛(くず)の栽培方法の開発プロジェクトなどを、新十津川農業は環境負荷を減らす屋上緑化の研究などを紹介した。

自己紹介から始まったわずか1時間の交流だったが、地域特性や作物の違いなど気付きは大きく、西吉野農業の高校生にはとりわけ北海道の規模の大きさが刺激。無人トラクターや農業散布ドローンなどスマート農業の取り組みにも興味を持った生徒(18)は「交流会の学びを来年度の活動に生かしたい」と意欲を深めていた。

スマート農業に関心

新十津川農業高 屋上緑化を研究



北海道新十津川町の高校生とのオンライン交流を楽しむ西吉野農業高生=22日、五條市西吉野町江田の市立西吉野農業高校

舞台から思い届けて

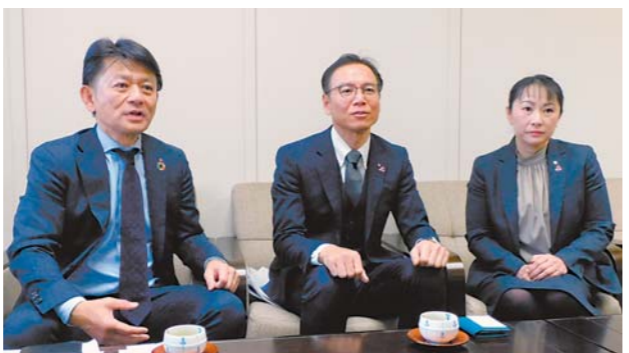
初観劇に児童ら感動

「劇団四季」は、子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクト「児童招待公演」の「劇団四季」の劇場として「ガンバの大冒険」を22日

観劇を終えた児童らを見送る劇団四季の俳優ら=22日、奈良市三条宮前町のなら100年会館

観劇を終えた児童らを見送る劇団四季の俳優ら=22日、奈良市三条宮前町のなら100年会館

朝日生命保険の渡部執行役員ら 今後も満足度1位維持



介護保険について話す朝日生命保険の渡部執行役員(左)と西村康弘・奈良支社長(中)、野口香織総務部長=23日、奈良市法華寺町の奈良新聞社

朝日生命保険の渡部耕治執行役員が23日、業務PRのため、西村康弘奈良支社長、野口香織同総務部長とともに奈良新聞社を訪れた。

渡部執行役員は「介護保険に力を入れている。『あんしん介護サービス』の認知症、介護保険ともに大変好調で、今後も顧客満足度ナンバーワンであり続けたい」と話した。同シリーズは公的介護保険制度の要

第1967回ロト6 抽せん結果 (23日)	
【本数字】	03 04 22 26 29 35
【ボーナス数字】	37
1等 申込数字が本数字6個とすべて一致	該当なし
2等 申込数字が本数字5個と一致し、さらにボーナス数字1個と一致	8口 7,820,500円
3等 申込数字が本数字5個と一致	204口 331,200円
4等 申込数字が本数字4個と一致	10,972口 6,500円
5等 申込数字が本数字3個と一致	172,592口 1,000円
キャリアオーバー	208,541,317円

奈良で来月15日 SDGs講演会

大仏を例に考察

放送大学奈良学習センターは2月15日、オンラインキヤンパスに合わせて公開講演会「東大寺大仏さまに学ぶSDGs達成の条件」を奈良市北魚屋町の奈良女子大学記念館で開く。参加無料、定員150人(先着順)。

講師は同センター客員教授で、奈良教育大学のESD・SDGsセンター長の中沢静男教授。教育学、E

往 来 24日

13時30分 奈良市議会 議決

13時30分 奈良市議会 議決

13時30分 奈良市議会 議決

開祖の教えや霊験... 中近世の絵巻を解説

絵解き 融通念仏縁起

阿波谷俊宏 著

奈良市内の「奈良町」にある徳融寺老院の著者が、平安時代末に奈良(りょう)に上人が開いた融通念仏宗の教えや霊験について、室町から江戸時代の絵巻を読み解きます。融通念仏宗では「二人の念仏が万人の功德(くどく)となり、万人の念仏が一人の功德(くどく)と教えます。絵巻には、良忍上人が厳しい修行の末に融通念仏の教えを授かり、多くの人々と結縁(けちえん)していく様子が描かれました。

B5判 並製本、84頁 定価 1,320円(税込) ISBN978-4-88856-150-1

現代に通じる倫理観/人間学として考察

「憲法十七条」広義

永崎孝文 著

「和魂」漢才の出あいと現代的意義

聖徳太子の「十七条憲法」の各条文を中国の古典と比較考察しながら現代的意義を探ります。条文に盛り込まれた政治倫理や道徳的観念は、現代に通じるものが少なくありません。本書は条文ごとに訳文をつけ、「字解」典拠考察、現代的意義で構成されています。著者は、京都大学文学部中国哲学史研究室で6年間、東洋思想を学びました。

A5判、並製本、361頁 定価 2,200円(税込) ISBN978-4-88856-139-6

江戸から明治の奈良/定番ルートを追体験

今昔奈良名所

森下恵介 著

世界に知られた観光名所、奈良。仏像や古建築の鑑賞が観光の柱となる以前、人々はどんな奈良巡りをしていたのでしょうか。猿沢池は「澄まず、濁らず、魚が入らず、蛙わかず」、薬が生えず、魚が三分に水三分」が不思議。江戸から明治にかけての奈良巡りを、当時の定番ルートを追体験してみませんか。土産物の錦絵や絵巻書も多数収録、見て読んで楽しめる案内書です。

A5判 並製本、口絵カラー26頁+本文75頁 定価 1,650円(税込) ISBN978-4-88856-144-0

悪僧のイメージを掃/大仏殿の復興にも尽力

護持院 隆光

飯田全紀 著

隆光(1649-1724)は、慶安2年に大和添下郡(現奈良市)に生まれ、江戸中期に活躍した真言宗新義派の僧侶です。その頃から時代劇や小説で生類憐れみの令(を)を説くのか、悪僧として登場するようになったことに疑問を感じ、著者がその知られざる生涯を描こうと創作も加えながら、新しい隆光像に迫った意欲作です。

B6判 上製本、407頁 定価 2,200円(税込) ISBN978-4-88856-111-2